

実施報告

第 17 回 全国空手道 指導者研修会

令和 8 年 8 月 16 日（日）～18 日（火）

日本空手道会館（東京都江東区）

全国から空手道初心者・保健体育科教員を中心とする 53 名の参加者が集まり、3 日間の実技・講義を通して空手道の基本的な知識・技術の習得・充実を図りました。



- 【研修内容】 ◇学校武道推進事業の取組みについて（講義）
◇空手道の歴史について（講義）
◇基本技術（①基本技術の習得 ②基本技術の指導法）
◇アクティブラーニングの実践
◇安全対策 空手道における安全配慮と憲章の求める指導者像（講義）
◇中学校武道指導実践法①「団体形演武・運営」
◇中学校武道指導実践法②「約束組手」
◇中学校武道指導実践法③「創作組手」
◇中学校武道指導実践法④「特別支援学校における空手道授業指導法」

- 【講義講師】 日下 修次 全日本空手道連盟学校武道推進委員会相談役
【講 師】 小山 正辰 全日本空手道連盟学校武道推進委員会委員長
日野 一男 日本ハラスメント&リスクマネジメント総合研究所代表
石川 周亨 全国中学校空手道連盟会長、京極町立京極中学校校長、全日本空手道連盟学校武道推進委員会副委員長
井下 佳織 麗澤大学准教授
松原 光 学校法人松韻学園福島高等学校校長
太田 熊野 富山県立しらとり支援学校教諭
【助 講 師】 山本 史子 佐賀県立鳥栖特別支援学校教諭
豊嶋 建広 麗澤大学名誉教授
中村 武志 群馬県空手道連盟副理事長、関東中学校空手道連盟会長
山田 ゆかり 学校法人村上学園職員
岸田 耕治 東京都空手連盟中学武道推進委員会委員長



基本技術



講義



約束組手



特別支援学校における指導法

参加者の感想

(抜粋)

「基本・突き・受け・形など、授業においてもわかりやすく指導できるようカリキュラムが組まれていて、非常によいものだと感じました。生徒に対して教える、考えさせるなど、場面ごとにわかりやすい講習が素晴らしいと思います」

「空手道は全くの未経験で、どんなことをするのかも理解していませんでしたが、温かい先生方に基本から丁寧に教えていただき、歴史や考え方から学ぶことができました。形を実践する中でも、新しいことを学ぶ楽しさはもちろん、体を思うように動かす難しさと楽しさを感じることができました」

「約束組手の団体演武においては、チームで息を揃えて演武を行う楽しさを実感しました。これまでメンバーがバラバラに異なる動きをとる球技の経験が多かった私にとって、複数人で動きを揃えるということ自体が新鮮に感じるとともに、動きが揃ったときの嬉しさや楽しさも感じる事ができ、非常に貴重な時間を過ごすことができました」

「講義では、安全管理に努めなければならないことや、命を預かる大切さを自覚しなければならないこと、心身ともに有為な人物を育成することについて学ぶことができました。特に「空手道を通して何を伝えるか」という言葉が印象に残りました。授業を通して生徒の人格形成に取り組んでいきたいと思います」

「全国各地から参加された先生方と交流し、それぞれの学校での実践や考えを聞くことができたことも大きな学びとなりました。互いに情報交換をしながら楽しく学ぶことができ、とても有意義な3日間となりました」